

## 男鹿市の一般会計等財務書類の概要（平成28年度決算）

### 貸借対照表

市の保有する資産がどれだけあり、その資産がどのような財源（負債、純資産）で形成されているかを表す財務書類です。

**資産合計 865億円**

これまでに形成された道路や建物、基金・現金など、将来世代に引き継ぐもの。

【内訳】  
**固定資産 851億円**  
 （土地、道路、建物、有価証券、出資金、特定目的基金、長期延滞債権など）

**流動資産 14億円**  
 （現金預金、未収金、財政調整基金など）

→ **流動資産のうち、現金預金5億円**

**負債合計 184億円**

借入金（市債）や将来支払う職員の退職手当など、将来の世代が負担する債務。

【内訳】  
**固定負債 167億円**  
 （地方債、退職手当引当金など）

**流動負債 17億円**  
 （1年以内償還予定地方債、賞与等引当金など）

**純資産合計 681億円 ←**  
 【 純資産＝資産－負債 】

### 行政コスト計算書

資産形成に結びつかない行政サービスに係る費用と、その行政サービスの直接の対価として得られた収益を対比させた財務書類です。

【内訳】  
**経常費用①** 162億円  
 人件費 26億円  
 （職員の給与、退職手当など）  
 物件費等 56億円  
 （物品購入費、維持管理費、減価償却費など）  
 その他の業務費用 2億円  
 （利息の支払い、火災保険料、還付金など）  
 移転費用 78億円  
 （社会保障経費、補助金、特別会計への繰出金など）

**経常収益②** 5億円  
 （施設の使用料や証明手数料などの受益者負担）

**純経常行政コスト(②-①)** △157億円③

**臨時利益-臨時損失** △1億円④  
 （臨時利益：資産の売却など 臨時損失：災害復旧費など）

**純行政コスト(③+④)** △158億円 ←

### 資金収支計算書

行政活動を、資金（現金）の流れから見たもので、3つの活動（業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支）ごとに表した財務書類です。

前年度末（平成27年度末）資金残高⑦ 4億円

当年度歳計資金増減額⑧ 1億円

【内訳】  
**業務活動収支** 9億円  
 （支出：人件費、物件費、社会保障給付費 収入：市税、地方交付税、国県支出金）  
**投資活動収支** △4億円  
 （支出：公共資産整備費、基金積立支出 収入：公共資産整備に充てた国県支出金、基金の取り崩しなど）  
**財務活動収支** △4億円  
 （支出：市債の償還 収入：市債の発行）

→ **本年度末（平成28年度末）現金預金残高(⑦+⑧) 5億円**

### 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が、どのように増減したかを表す財務書類です。

前年度末（平成27年度末）純資産残高⑤ 691億円

**純資産変動額⑥** △10億円

【内訳】  
**純行政コスト** △158億円 ←  
**税収等・国県等補助金・その他** 148億円

→ **本年度末（平成28年度末）純資産残高(⑤+⑥) 681億円**